

水道局 令和8年度 局運営方針（案）

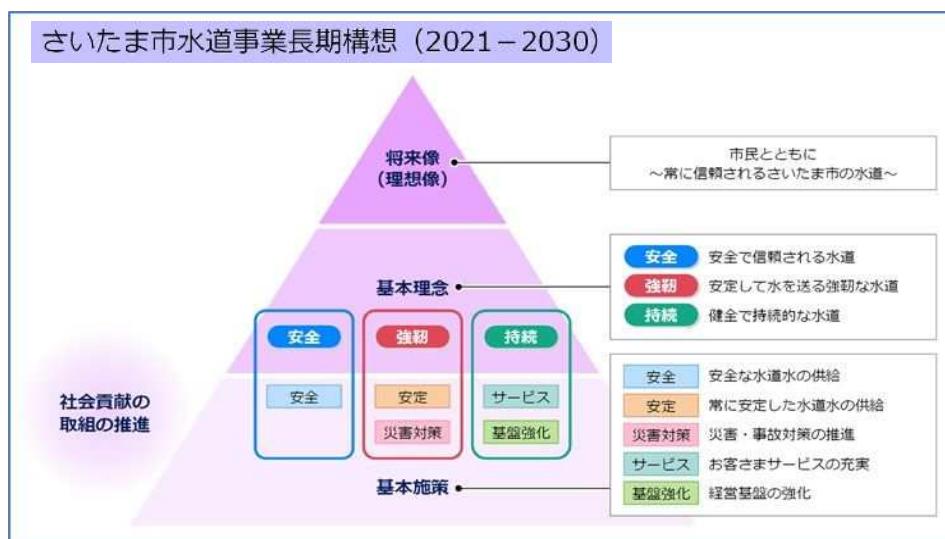
1 主な現状と課題

本市の人口は現在増加傾向にありますが、将来的には減少に転じ、これに伴い給水人口や給水収益も減少すると見込まれます。一方、水道施設の老朽化は進行しており、更新需要は今後さらに増加する見通しです。

令和6年能登半島地震では長期の断水が発生し、水道施設の強靭化の重要性が改めて認識されました。さらに、令和7年度には国が「第1次国土強靭化実施中期計画」を策定したことから、本市においても、耐震化対策を計画的に推進する必要があります。

加えて、本市の水源の約9割を占める埼玉県からの受水費が令和8年度から約21%引き上げられるほか、近年の物価高騰により工事費も上昇しており、財政状況は一層厳しさを増しています。このため、財政とのバランスを考慮した効率的かつ計画的な施設整備が喫緊の課題となっています。

こうした社会経済状況の変化や重要課題に対応するため、水道局では、「さいたま市水道事業長期構想（2021－2030）」及び「さいたま市水道事業中期経営計画（2026－2030）」に基づき、より効率的かつ効果的な事業運営を進める必要があります。



(1) 水道施設の再構築の推進

安全・安心な水道水を安定して供給していくため、将来の水需要の減少を踏まえた水道施設の効率的な配置や適切な施設能力・規模への計画的な改良・更新を進めるとともに、地震等の災害に対しても信頼性の高い強靭な水道施設の再構築を推進する必要があります。



老朽管更新工事

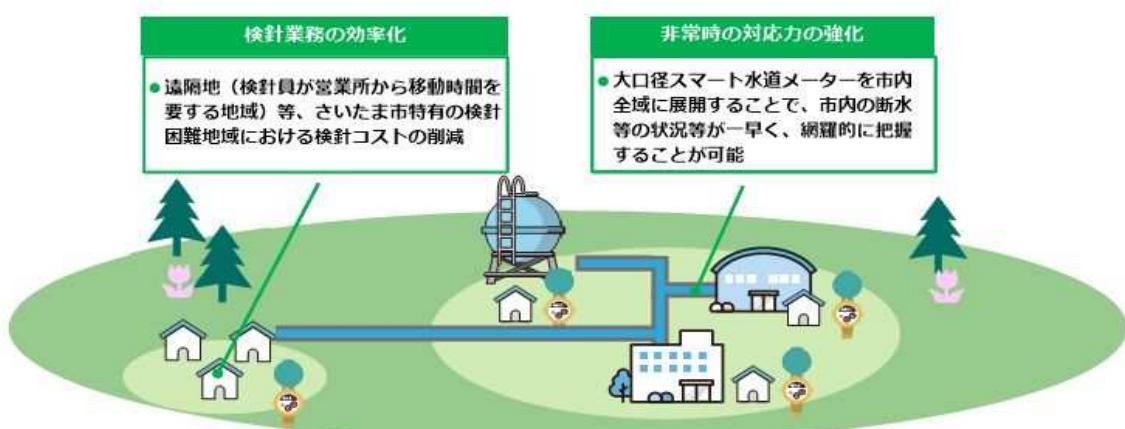


自家発電設備更新工事

(2) デジタル化の推進

市民サービスの向上や検針業務の効率化を目的としたスマート水道メーターの導入のため、超音波式一体型スマート水道メーターの効果を検証する実証実験を実施し、実装に向けた推進プランを作成する必要があります。また、衛星画像をAI技術により解析することで、漏水の疑いのある箇所を効果的に抽出し、漏水被害の未然防止を図ることを目的とした効率的かつ経済的な漏水調査を実施するなど、デジタル化の推進に取り組む必要があります。

【本市が中長期的に目指す姿】



(3) 社会貢献の取組の推進

長期構想に掲げる将来像「市民とともに～常に信頼されるさいたま市の水道～」の実現に向けて、社会への責任を果たす行動が求められています。

水道局では、30年以上にわたりラオス国の水道分野への国際協力を継続しており、現在も国際協力機構（JICA）の技術協力プロジェクトや草の根技術協力事業に参画し、職員派遣や研修生受入れに加え、オンラインツールを活用した技術支援を展開しています。さらに、SDGsの観点からも、すべての人々の水と衛生の利用可能性を確保する取組を推進する必要があります。また、検定有効期限を迎えた水道メーターの分解作業を社会福祉就労支援施設へ委託し、再資源化を推進するとともに、障害者の就労機会を提供していく必要があります。



ラオス国との水道分野の強化に向けた協力に関する覚書締結（令和5年11月）



水道メーターの分解作業

2 基本方針・区分別主要事業

水道施設の改良更新、耐震化等の整備を計画的に進めることにより、信頼性の高い強靭な水道施設の再構築を推進します。

また、スマート水道メーターの導入に向けた実証実験の実施及び実装に向けた推進プランの作成や、衛星画像とAIを活用した漏水調査業務の実施を通じて、デジタル化を推進します。

ラオス国への国際協力を継続することや、検定有効期限を迎えた水道メーターの分解作業を社会福祉就労支援施設へ委託することにより、社会貢献の取組を積極的に行います。

(1) 水道施設の再構築の推進

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和8年度	令和7年度	説明	掲載 ページ
1	総振	水道施設整備事業 〔水道計画課〕	13,004,590	13,838,221	水道施設の改良更新、耐震化等の整備を計画的に進めます。	II-587

(2) デジタル化の推進

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和8年度	令和7年度	説明	掲載 ページ
2	拡大	スマート水道メーター導入 の推進 〔営業課〕	10,790	15,391	スマート水道メーターの導入のため、実証実験において超音波式一体型スマート水道メーターの効果を検証するとともに、実装に向けた推進プランを作成します。	II-586 II-587
3	拡大	漏水調査事業 〔維持管理課〕	119,449	178,468	衛星画像をAI技術により解析することで、漏水の疑いのある箇所を効果的に抽出し、漏水被害の未然防止を図ることを目的とした効率的かつ経済的な漏水調査を実施します。	II-586 II-587

(3) 社会貢献の取組の推進

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和8年度	令和7年度	説明	掲載 ページ
4	総振	国際協力推進事業 〔経営企画課〕	16,810	31,105	水道局で培った経験と技術を生かし、ラオス国の水道分野における技術協力を推進するとともに、国際色豊かな職員を育成します。	II-586
5		社会福祉就労支援事業 〔給水装置課〕	17,055	13,458	検定有効期限を迎えた水道メーターを再利用可能な部分と廃棄する部分とに分解する作業を、社会福祉就労支援施設に委託します。	II-586

〔区分〕新規：新規事業 拡大：拡大事業 総振：総合振興計画実施計画事業

3 脱炭素化に資する主な取組一覧

(単位 : kg-CO₂)

課名等	事業名	取組の内容	CO ₂ 削減量
管財課 営業課 水質管理課	桜環境センターのグリーン電力活用	水道庁舎等において、桜環境センターで発電されたグリーン電力を活用することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	895,319.0
南部水道営業所	空調設備の更新	老朽化した空調設備を更新することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	2,814.8
水質管理課 配水管理事務所	水道総合センター、東部配水場のLED化	水道総合センター等の照明をLED化することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	55,515.7
配水課	ごみ発電を活用したエネルギー・マネジメント事業の実施	配水場において、ごみ発電を活用したエネルギー・マネジメント事業を実施することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	7,106,168.0

会計名	水道事業会計	予算額	52,535,221
局/部/課	水道局/業務部/水道財務課		
予算書	水道事業会計予算書		
<事業の目的・内容>			
	市民生活を支えるため、安全で良質な水道水を安定して供給するとともに、地震等の災害や渇水にも強い、たくましい水道をつくっていきます。		
	また、健全経営の下、効率的な施設運営や利用者の視点に立った質の高いサービスを提供します。		
		前年度予算額	50,463,599
		増減	2,071,622

<主な事業>

【 収 入 】

[1款 : 水道事業収益]	33,905,116
1 営業収益	32,287,405
(1) 給水収益	26,432,043
水道料金収入です。	
[参考] 給水収益の推移	
令和3年度決算額	29,815,173,875円
令和4年度決算額	29,477,519,224円
令和5年度決算額	29,180,395,366円
令和6年度決算額	29,515,676,009円
令和7年度当初予算額	29,259,116,000円
(2) その他営業収益	5,758,101
ア 配給水管維持管理等負担金	428,698
下水道などの他事業が地下埋設物を設置する際、支障となる水道管を移設させる場合等に受けるものです。	
イ 下水道使用料同時徴収事務負担金	1,086,984
市民サービス向上のため実施している上下水道料金一括徴収の経費のうち、下水道使用料部分の負担金です。	
ウ 水道料金減額による減収分の補填	3,045,216
重点支援地方交付金を活用し、水道料金の基本料金を令和8年4月検針分から4か月分減額することによる減収分を、一般会計負担金により補填するものです。	
エ 分担金	1,072,294
新たに水道メーターを設置するなどした利用者が、口径に応じて負担するものです。	
オ その他営業収益	13,675
JICA草の根技術協力事業に要した経費について、申請に基づき、JICAより補填されるものです。	
2 営業外収益	1,603,631
(1) 補助金	28,651
上下水道一体効率化・基盤強化推進事業のうち、上下水道DX推進事業による国からの補助金です。	
(2) 長期前受金戻入	1,203,257
償却資産の取得及び改良時に交付された補助金等の減価償却等に伴う収益化額を計上します。	

【 支 出 】

[1款 : 水道事業費用]	32,447,247
1 営業費用	31,556,947
(1) 水源費	10,857,048
受水費	10,039,496
埼玉県からの受水に係る費用です。	
(2) 配給水費	11,685,181
ア 社会福祉就労支援事業	17,055
検定有効期限を迎えた水道メーターを再利用可能な部分と廃棄する部分とに分解する作業を、社会福祉就労支援施設に委託します。	
イ 漏水調査事業	111,573
衛星画像をAI技術により解析することで、漏水の疑いのある箇所を効果的に抽出し、漏水被害の未然防止を図ることを目的とした効率的かつ経済的な漏水調査を実施します。	
(3) 業務費	2,621,722
スマート水道メーター導入の推進	9,774
スマート水道メーターの導入のため、実証実験において超音波式一体型スマート水道メーターの効果を検証するとともに、実装に向けた推進プランを作成します。	
(4) 総係費	2,169,481
国際協力推進事業	16,810
水道局で培った経験と技術を生かし、ラオス国の水道分野における技術協力を推進するとともに、国際色豊かな職員を育成します。	

[総振 : 01-3-1-02]

2 営業外費用	868,538
(1) 企業債利息	865,580
企業債の利息の支払いに係る費用です。	

※ 職員人件費については、P. II-589に掲載しています。

【 収 入 】		【 支 出 】	
[1款：資本的収入]	9,384,316	[1款：資本的支出]	20,087,974
1 企業債	8,981,000	1 建設改良費	16,376,841
水道施設の整備事業に係る企業債です。		(1) 施設整備費	14,287,959
2 負担金及び寄附金	372,301	水道施設整備事業	13,004,590
開発事業者等の依頼に基づく水道管の布設に係る負担金等です。		水道施設の改良更新、耐震化等の整備を計画的に進めます。	
3 補助金	31,015	[総振：09-2-4-01]	
防災・安全交付金による国からの補助金です。		<地下水源の整備>	577,394
		地下水源の保全と有効活用を図るため、深井戸の更新や新規整備を行う事業です。	
		<拠点施設の整備>	700,985
		安定給水の確保のため、老朽化した配水ポンプ等を更新する事業です。	
		<配水管の整備>	680,653
		漏水が多発する給水管の解消や、バックアップ機能の強化を図るため、配水管の整備を行う事業です。	
		<老朽管の更新>	11,045,558
		漏水の防止に努めるとともに、耐震化を図るため、老朽管の計画的な更新を行う事業です。	
		(2) 設備改良費	2,088,882
		ア 漏水調査事業	7,876
		漏水調査を実施するための機器を賃貸借する事業です。	
		イ スマート水道メーター導入の推進	1,016
		超音波式一体型スマート水道メーターの実証実験を行うため、システム改修を行う事業です。	
		2 償還金	3,711,133
		企業債の元金償還金に係る経費です。	
		[総振：52-2-2-01]	